

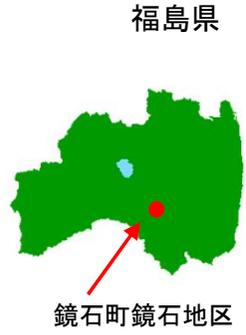
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稻を中心に野菜、果樹などとの複合経営が主体の平地農業地域
- 農業従事者の高齢化や後継者不足、遊休農地の増加が進んできており、担い手の育成、新規就農者の確保が課題

【支援内容・背景】

- 担い手への農地利用の集積・集約化と収益性の高い作物との複合経営化に対応して、作業の効率化、省力化を支援する必要。
- 助成対象者は地区内で大規模に水稻とイチゴの複合経営を営む中心的な経営体であり、水稻は省力化を進めつつ規模拡大、イチゴは新技術や新品種を導入しながら生産拡大に取り組む。地区における大規模水稻とイチゴの複合経営の効率化、省力化により生産性向上を目指す取組モデルとして支援。



助成対象者「飛澤良男」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 昭和56年 経営継承し営農開始
- 平成10年 農業経営改善計画認定

《事業活用の背景》

- 水稻の経営規模拡大を図るため、生産や出荷調製作業の効率化、省力化が必要。水稻の田植、調製作業の効率化に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】  
〈R2年度〉

- 付加価値額 20百万円
- 経営面積 8ha

《事業による整備内容》

- 田植機(8条) 1台  
事業費 3,900千円  
(国費 1,063千円)
- 色彩選別機 1台  
事業費 3,000千円  
(国費 818千円)



【現在の経営状況】  
〈R5年度〉

- 付加価値額 25百万円 (125%)
- 経営面積 14.5ha (181%)

事業の  
効果

《対象者》 水稻の作業効率化が図られ、経営面積の増加が実現。  
 《地区》 地域の担い手として離農する農家の農地の引き受けながら経営拡大が図られ、地域の水稲とイチゴの複合経営モデルとして確立。